

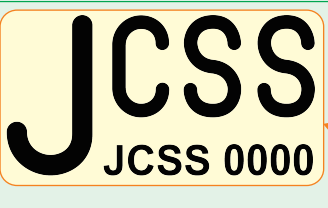


# JCSS校正証明書は、計量トレーサビリティの証です

JCSS校正証明書の最大のメリットは、JCSS標章／認定シンボルによって、計量トレーサビリティの確保が一目瞭然となることです。以下、JCSS校正証明書に記載されている内容の説明をご参考にしてください。

  		総数2頁の1頁 証明書番号000000号	
<b>JCSS認定シンボル：</b> JCSS 標章の左にILAC/MRAマークとIAJapanロゴが加わったシンボルであり、MRA（国際相互承認）に対応していることを意味します。			<b>JCSS標章：</b> JCSS登録事業者が発行する校正証明書であり、計量トレーサビリティと技術能力が一目で識別できるシンボル（校正証明書の欄外にも記載されています）。
<h2>校正証明書</h2>			
依頼者名	〇〇△△工業株式会社		
住所	□□県〇〇市		
品名	ガラス製温度計		
形式	目盛範囲 0℃以上50℃以下 目量0.1℃		
製造番号	0000		
製造者名	株式会社◎◎製作所		
校正項目	温度		
校正方法	比較校正マニュアル（LIGT-001WSIGT）による		
校正実施場所	××県〇〇市△△町00丁目00番00号 □□◇◇株式会社 ◎◎事業所 温度計校正室		
校正室の環境条件	温度23℃±5℃ 湿度65%±20%		
校正年月日	0000年00月00日		
校正結果は次項のとおりであることを証明します。	0000年00月00日		
試験所・校正機関の能力に関する一般要求事項を規定した国際基準です。JCSS認定事業者は、すべてこの基準にしたがって認定されています。	××県〇〇市△△町00丁目00番00号 □□◇◇株式会社 ◎◎事業所 温度計校正室 室長 温度 太郎		
◆この証明書は、計量法第144条（第一項）に基づくものであり、特定標準器（国家標準）にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。			
◆認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して用いることは禁じられています。			
◆この証明書を発行した事業者は、ISO/IEC 17025:2017 に適合しています。			
◆この証明書は、ILAC（国際試験所認定協力機構）及びAPAC（アジア太平洋認定協力機構）のMRA（相互承認）に加盟しているIAJapanに認定された校正機関によって発行されています。この校正結果はILAC/APACのMRAを通じて、国際的に受け入れ可能です。			

JCSS認定事業者の認定機関であるNITE認定センター（IAJapan）は、国際認定協力機構及びアジア太平洋地域認定協力機構のメンバーであり、その校正証明書の相互受入れに関する取決めに署名しています。これにより、JCSS認定シンボルのついた校正証明書は世界中のいろいろな国で受け入れられることが可能となります。



**JCSS**  
JCSS 0000

総数2頁の2頁  
証明書番号000000号

## 校正結果

### 「校正の不確かさ」

校正値のばらつきの「確かさ」を示す指標。校正値は、測定による最良推定値から求められており、「校正の不確かさ」は**校正結果の信頼性を数値で表した**ものです。通常は、信頼水準約95 %での数値で記載されています。

指示値 (°C)	校正値 (°C)	拡張不確かさ (°C)
0.00	-0.04	0.04
10.00	9.97	0.07
20.00	19.94	0.07
30.00	29.93	0.07
40.00	39.90	0.07
50.00	50.20	0.07

**校正の不確かさ** は、包含係数を $k=2$ とした拡張不確かさであり、約95 %の信頼の水準を持つと推定される区間を与える。

### 校正条件

1. 校正室の校正時の条件 温度 21 °C以上25 °C以下  
湿度 50 %以上80 %以下
2. ガラス製温度計の受入れのためアニール試験を行った。最高校正温度で30分のアニールを行った後に校正を行った。
3. 校正に使用した温槽  
0 °Cの温度目盛の校正には、氷点槽を使用した。  
10 °C以上50 °C以下の温度目盛の校正には、水温槽を使用した。

### くらしと産業をささえる、JCSS校正証明書

JCSS校正証明書は様々な分野で活用され、わたしたちのくらしや産業を支えています。

(例)

- ・工場等から排出されるガスの成分分析に用いられる、標準ガスの品質の証として
- ・IATF 16949 (自動車セクター規格) 審査等におけるトレーサビリティ証明として

他にもたくさんの事例があります。

詳しくは、JCSSホームページにて活用事例集を公開しています。

[https://www.nite.go.jp/iajapan/jcss/information/info\\_casestudies.html](https://www.nite.go.jp/iajapan/jcss/information/info_casestudies.html)

右記QRコードよりご覧いただけます。



お問い合わせは…

独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) 認定センター (IAJapan)

<https://www.nite.go.jp/iajapan/>

